

[選択項目] 年度: 1991~2023 年 大学: 工学院大

0.1 $\log_{16} 2 + \log_8 4 + \log_2 a = 1$ のとき, 実数 a を求めよ.

(工学院大 2003) (m20036201)

0.2 半径 r の円に内接する長方形のうち, 面積最大のものは正方形であることを証明し, そのときの面積を求めよ.

(工学院大 2003) (m20036202)

0.3 $\int_0^a e^{x^2} \cdot x^3 dx$ のとき, 実数 a を求めよ.

(工学院大 2003) (m20036203)

0.4 微分方程式, $y + x \frac{dy}{dx} = xy \frac{dy}{dx}$ の一般解を求めよ.

(工学院大 2003) (m20036204)

0.5 (1) 行列 $A = \begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 1 & 4 \end{bmatrix}$ の逆行列 A^{-1} を求めよ.

(2) 行列の演算, $\begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 1 & 4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 60 \\ 70 \end{bmatrix}$ が成立するとき, (1) で求めた逆行列 A^{-1} を用いて, x と y の値を求めよ.

(工学院大 2003) (m20036205)

0.6 図 1 のように, 点 A, B, C, D が xy 軸平面上にある. 原点 O とし,

各座標を $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ と示すとき, $\vec{OA} = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\vec{OC} = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ である.

また, \vec{OB} は \vec{OA} を原点を中心として, 反時計方向に角度 θ 回転させたものである. \vec{OD} は \vec{OC} を同様に角度 θ 回転させた点である.

以下の問に答えよ.

(1) 点 B, D の座標を求めよ.

(2) $\vec{OB} \cdot \vec{OD}$ を計算せよ.

(3) 原点を中心とした長さ 1 である任意のベクトル $\vec{OE} = \begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix}$ は,

\vec{OA} を角度 α 回転させることによって得られる. 角度 α 回転させる一次変換を

$$\begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \dots\dots \textcircled{1}$$

と表すとき, a, b, c, d を求めよ.

(4) $\cos(\alpha + \beta)$ を $\sin \alpha, \cos \alpha, \sin \beta, \cos \beta$ を用いて表せ.

(工学院大 2003) (m20036206)

0.7 複素数 $z = \frac{1}{2} + i\frac{1}{2}$ に対し, 共役複素数 \bar{z} , $\arg \frac{z}{\bar{z}}$ を求めよ. 但し, $i = \sqrt{-1}$ とする.

(工学院大 2003) (m20036207)

0.8 (1) 曲線 $y = \cos 2\pi x$ に $x = \frac{1}{6}$ で接する直線の傾き (勾配) を求めなさい. (図 2 参照)

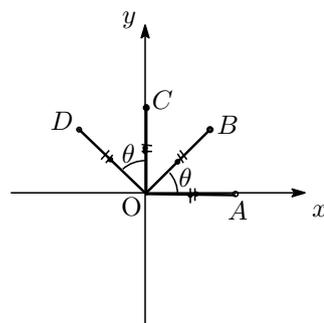


図 1: xy 軸平面

- (2) x, y 軸と曲線 $y = \cos 2\pi x$, 直線 $x = \frac{1}{6}$ に囲まれる図形の面積を求めよ.

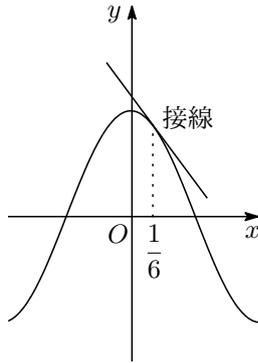


図 2: 曲線 $y = \cos 2\pi x$

(工学院大 2003) (m20036208)

- 0.9 容器に n 個の部品を入れてある. このうち, m 個が不良品で残りが良品である. この容器からランダムに 2 個の部品を取り出したとき, 1 個が不良品で 1 個が良品である確率を求めよ.

(工学院大 2004) (m20046201)

- 0.10 $y = \sin^2 x + \cos x$ ($0 \leq x < 360^\circ$) の最小値を求めよ.

(工学院大 2004) (m20046202)

- 0.11 $\int_0^\infty \lambda x e^{-\lambda x} dx$ を解け.

(工学院大 2004) (m20046203)

- 0.12 $x \frac{dy}{dx} = x + y$ を解き, 点 $(1, 2)$ を通る解を求めよ.

(工学院大 2004) (m20046204)

- 0.13 (1) 行列 $A = \begin{bmatrix} \cos \theta & \sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{bmatrix}$ の固有値が実数となることを証明せよ.

- (2) 行列 A の逆行列 A^{-1} を求め, $AA^{-1} = E$ となることを証明せよ. ただし, E は単位行列である.

(工学院大 2004) (m20046205)

- 0.14 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 3 \\ 6 & -4 \end{pmatrix}$ と $B = \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ -6 & 5 \end{pmatrix}$ において以下の値をそれぞれ求めよ.

(1) $A^2 + B^2$

(2) $(A + B)(A - B)$

(工学院大 2004) (m20046206)

- 0.15 2つのベクトル $\vec{a} = (1, 1)$, $\vec{b} = (-1 + \sqrt{3}, -1 - \sqrt{3})$ の内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を求めよ. また, \vec{a} , \vec{b} が成す角 θ を求めよ.

(工学院大 2004) (m20046207)

- 0.16 複素数 $4 - 3i$ の絶対値を求めよ.

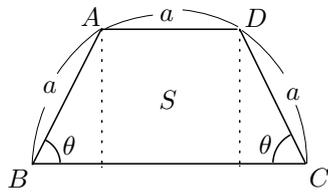
(工学院大 2004) (m20046208)

- 0.17 $x = 2t - 4$, $y = 5 - 3t^2$ の関数があるとき, 導関数 $\frac{dy}{dx}$ を求めよ. (x を用いて表せ.)

(工学院大 2004) (m20046209)

0.18 曲線 $y = 2 \sin^2 x$ 上の点 $x = \frac{\pi}{4}$ における接線の傾きと、接線の方程式を求めよ。
(工学院大 2004) (m20046210)

0.19 図のように辺 $AB = AD = DC = a$, $\angle ABC = \angle DCB = \theta$ の等脚台形がある. 台形 $ABCD$ の面積 S を a, θ を用いて表せ. さらに面積 S を最大にするような θ の値を求めよ.



(工学院大 2004) (m20046211)

0.20 ある製品において, 任意に 1 回抜き出したとき, それが良品である確率が $\frac{1}{2}$ とする. このとき, n 回抜き出した結果, 良品と不良品が交互に出る確率を求めよ.

(工学院大 2005) (m20056201)

0.21 $y = \sin^2 \theta + \sin 2\theta + 3 \cos^2 \theta$ ($0^\circ \leq \theta < 90^\circ$) の最大値とそのときの θ の値を求めよ.

(工学院大 2005) (m20056202)

0.22 $a < 1$ のとき, $\sum_{n=0}^{\infty} n(1-a)a^n = \frac{a}{1-a}$ となることを証明せよ.

(工学院大 2005) (m20056203)

0.23 $\int_0^1 \frac{1+x}{\sqrt{1-x^2}} dx$ を解け.

(工学院大 2005) (m20056204)

0.24 (1) 行列 $A = \begin{pmatrix} 2 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & 1 \\ 1 & 1 & 2 \end{pmatrix}$ の逆行列 A^{-1} を求めよ.

(2) 求められた逆行列 A^{-1} を用いて, 次の連立方程式を解け.

$$\begin{cases} 2x + y + z = 4 \\ x + 2y + z = 1 \\ x + y + 2z = 5 \end{cases}$$

(工学院大 2005) (m20056205)

0.25 ベクトル $\vec{a} = (1, 2, 3)$, $\vec{b} = (2, -1, 1)$, $\vec{c} = (4, -2, 1)$ において次の計算を行え.

(1) $\vec{a} + 2\vec{b}$

(2) $|\vec{a} + 2\vec{b}|$

(3) $4\vec{a} - 3\vec{b} - 2\vec{c}$

(工学院大 2005) (m20056206)

0.26 行列 $A = \begin{pmatrix} -4 & 0 \\ 3 & 2 \end{pmatrix}$, $B = \begin{pmatrix} -2 & 4 \\ 1 & 3 \end{pmatrix}$ において次の計算を行え.

(1) AB

(2) BA

(3) 逆行列 A^{-1} を求めよ.

(工学院大 2005) (m20056207)

0.27 $A = 3 + 3i$, $B = 2 - 2i$ (i は虚数単位) のとき $\frac{A}{B}$ を計算せよ. ただし, 答えは分母を有理化した値を記すこと.

(工学院大 2005) (m20056208)

0.28 $x = \sqrt{t+1}$, $y = t^2 + 2t + 3$ で表される関数において $\frac{dx}{dy}$ を t の式で表せ.

(工学院大 2005) (m20056209)

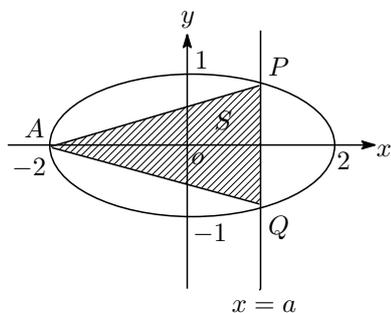
0.29 次の不定積分を求めよ.

(1) $y = \int \frac{e^x}{e^x + 2} dx$

(2) $y = \int \frac{2x^2 + 3x + 4}{x} dx$

(工学院大 2005) (m20056210)

0.30 図のように楕円 $\frac{1}{4}x^2 + y^2 = 1$ と y 軸に平行な直線 $x = a$ が 2 点 P, Q で交わるとき, 点 $A(-2, 0)$ を頂点とする三角形 APQ の面積 S が最大となるときの面積 S_{max} とそのときの a の値を求めよ.



(工学院大 2005) (m20056211)